

令和6年度 事業報告

公益社団法人 日本皮膚科学会

令和6年度 日本皮膚科学会 事業報告

1. 会員状況（令和7年3月31日現在総数）

(1) 会員数	13,178 名
・正会員	12,906 名
・賛助会員	272 名
(2) 皮膚科専門医数	7,259 名
・新規資格認定者	236 名
・資格更新認定者	1,350 名（学会：14 名 機構：1,300 名）
・資格喪失及び資格喪失予定者	485 名
(3) 皮膚悪性腫瘍指導専門医	93 名
・新規資格認定者	2 名
・資格更新認定者	12 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	4 名
(4) 美容皮膚科・レーザー指導専門医	62 名
・新規資格認定者	5 名
・資格更新認定者	10 名
・資格喪失及び資格喪失予定者	0 名

2. 学術大会、講習会、その他の研究集会の開催

(1) 総会、学術大会

- ・第123回日本皮膚科学会総会
会頭：梶島 健治（京都大学）
会期：令和6年6月6日（木）～9日（日）
場所：国立京都国際会館（京都府・京都市）
- ・第88回日本皮膚科学会東部支部学術大会
会長：川上 民裕（東北医科薬科大学）
会期：令和6年9月14日（土）～15日（日）
場所：仙台国際センター（宮城県・仙台市）
- ・第88回日本皮膚科学会東京支部学術大会
会長：石黒 直子（東京女子医科大学）
会期：令和6年11月16日（土）～17日（日）
場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）
- ・第75回日本皮膚科学会中部支部学術大会
会長：森田 明理（名古屋市立大学）
会期：令和6年10月12日（土）～13日（日）
場所：名古屋マリオットアソシアホテル（愛知県・名古屋市）

- ・第76回日本皮膚科学会西部支部学術大会

会長：久保 宜明（徳島大学）

会期：令和6年9月7日（土）～8日（日）

場所：あわぎんホール（徳島県・徳島市）

- ・上記のとおり日本皮膚科学会総会及び支部学術大会の運営を本部にて実施し、総会の講演についてはE-learningを実施

(2) 講習会

- ・必須（総会）

日時：令和6年6月9日（日）9：20～13：20

Web開催

- ・必須（夏）

日時：令和6年8月24日（土）9：30～13：30

Web開催

- ・必須（冬）

日時：令和7年1月12日（日）9：30～13：30

Web開催

- ・選択（夏）

日時：令和6年8月25日（日）9：30～13：30

Web開催

- ・選択（冬）

日時：令和7年1月11日（土）9：30～13：30

Web開催

- ・東部支部企画

日時：令和6年9月15日（日）13：40～15：40

場所：仙台国際センター（宮城県・仙台市）

- ・東京支部企画

日時：令和6年11月17日（日）14：00～16：00

場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）

- ・中部支部企画

日時：令和6年10月13日（日）15：50～17：50

場所：名古屋マリオットアソシアホテル（愛知県・名古屋市）

- ・西部支部企画

日時：令和6年9月8日（日）15：30～17：30

場所：Web開催

(3) 研修会

- ・皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会

日時：令和6年5月11日（土）15：20～17：20

場所：シーガイアコンベンションセンター（宮崎県・宮崎市）

- ・美容皮膚科・レーザー指導専門医研修会

日時：令和6年9月1日（日）

場所：名古屋国際会議場（愛知県・名古屋市）+後日配信

(4) Clinical Dermatology Leadership Seminar 2024

日時：令和6年10月26日（土）～27日（日）

場所：オリエンタルホテル福岡（福岡県・福岡市）

(5) 第9回皮膚科サマースクール 2024

日時：令和6年7月14日（日）～15日（月・祝）

場所：札幌プリンスホテル（北海道・札幌市）

(6) スペシャリティーナース講習会

日時：令和6年6月9日（日）14:30～16:30

場所：ザ・プリンス 京都宝ヶ池（京都府・京都市）

3. 機関誌その他の刊行物の発行

- ・日本皮膚科学会雑誌（第134巻）

月刊邦文誌、臨時増刊（年1回） 計 年13回刊行

- ・The Journal of Dermatology (Vol.51)

月刊英文誌 計 年12回刊行

- ・西日本皮膚科（西部支部）(Vol.86)

偶数月（隔月） 計 年6回刊行

- ・JDA Letter

季刊誌 計 年4回刊行

4. 内外の関連する団体との連携

(1) 国内

- ・「ひふの日」（11月12日）を中心にした一般市民向けの啓発事業の展開
各都道府県において、講演会、健康相談、無料診断、広報活動等を実施
- ・依頼があった皮膚科関連学会の総会等の大会運営支援を実施

(2) 海外

- ・第14回日独皮膚科学会（14th Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology）

会長：山本 俊幸（福島県立医科大学）

日時：令和6年6月26日（水）～28日（金）

場所：御殿場高原リゾート（静岡県・御殿場市）

5. 皮膚科学に関する調査研究及び治療ガイドライン等の作成

- ・医薬品等による副作用の症例の収集及び医薬品等のより良い使用方法の周知
- ・AI 及び遠隔診療の各委員会による検討
- ・ICT 医療等の研究の検討
- ・各種ガイドライン及びマニュアル等の新規作成・改訂作業の実施

6. 専門医の認定及び皮膚科医研修施設の指定

(1) 専門医認定

①認定試験の実施

- ・第 32 回皮膚科専門医認定試験
日時：令和 6 年 12 月 15 日（日）
場所：東京国際フォーラム（東京都・千代田区）
- ・第 18 回皮膚悪性腫瘍指導専門医認定試験
日時：令和 7 年 1 月 26 日（日）
場所：東京国際フォーラム（東京都・千代田区）
- ・第 18 回美容皮膚科・レーザー指導専門医認定試験
日時：令和 7 年 1 月 26 日（日）
場所：東京国際フォーラム（東京都・千代田区）

②関連事業

- ・機構専門医制度における各種対応

(2) 研修施設

- ・主研修施設及び研修施設の更新、取消等の実施

7. 皮膚科学に関する教育、研究の奨励及び業績の表彰

- ・皮膚疾患ケア看護師制度の認定
- ・留学支援制度の実施
- ・皮膚科教育コンテンツの充実
- ・研究者の養成を目的とした助成事業
- ・日本皮膚科学会皆見省吾記念賞
受賞者： 中溝 聡／京都大学
受賞論文：Activation of the pentose phosphate pathway in macrophages is crucial for granuloma formation in sarcoidosis
The Journal of Clinical Investigation,133(23):e171088,2023.

・日本皮膚科学会・雑誌論文賞

受賞者： 入江 絹子／福島県立医科大学

受賞論文：免疫チェックポイント阻害薬投与中に生じた皮膚症状と抗腫瘍効果との関連性
～当科において経験した 110 名の臨床的検討～

日本皮膚科学会雑誌 第 133 巻第 12 号 2825-2836, 2023

受賞者： 今井亜希子／東京医科歯科大学, ひかり在宅クリニック

受賞論文：足趾巻き爪の形成要因となり得る運動機能障害と足趾変形に関する解析

日本皮膚科学会雑誌 第 133 巻第 11 号 2589-2597, 2023

・The Journal of Dermatology Best Paper Prize (2023)

受賞者： 鬼束 真美 (Mami Onitsuka) ／山口大学

受賞論文：A homozygous loss-of-function variant in the MPO gene is associated with generalized
pustular psoriasis

The Journal of Dermatology, Volume 50, Issue 5, 664-671, 2023

・Master of Dermatology

受賞者： 岩月 啓氏／福島労災病院, 岡山大学名誉教授

受賞テーマ：EB ウイルス関連皮膚疾患の病態解明：症例から学んだ新たな疾患スペクトラム

・日本皮膚科学会基礎医学研究費の授与

受領者： 木下 真直／山梨大学

研究課題：皮膚上皮内における自然免疫系が担う腫瘍免疫の包括的解明

受領者： 高島 翔太／北海道大学

研究課題：スプライシングによる表皮基底膜タンパクの多様性とその意義の解明

受領者： 足立 剛也／慶應義塾大学

研究課題：シングルセル解析を用いた IgE 介在性/非介在性アナフィラキシーの病態解明

受領者： 大石 京介／金沢大学

研究課題：皮膚の有棘細胞癌における PRAME 発現の有無による予後の推定

受領者： 桃原真理子／名古屋大学

研究課題：Immunoprecipitation- liquid chromatography-tandem mass spectrometry を
用いた自己抗原の網羅的解析

受領者： 山村 和彦／九州大学

研究課題：生理活性脂質スフィンゴシン 1 リン酸のアトピー性皮膚炎における
特徴的なシグナル経路とその役割の解明

・日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費の授与

受領者： 氏家 英之／北海道大学

研究課題：糖尿病治療薬が水疱性類天疱瘡を引き起こす機序の解明

- ・日本皮膚科学会皮膚医学研究基金の授与

受領者：石塚 洋典／大阪大学

研究課題：ロリクリンによる獲得免疫調節機構の解明

受領者：酒井 貴史／大分大学

研究課題：炎症性皮膚疾患の次世代治療開発：AI と臨床ビッグデータの融合

8. 皮膚科学に関する国際的な研究協力の推進

- ・皮膚科関連国際会議出席
- ・ILDS（国際皮膚科連盟）活動に対し資金援助及び協力

9. 皮膚科学に関する情報の公開

- ・日本皮膚科学会ホームページの更新
- ・皮膚科 Q&A の改訂準備（英文ページの拡大含む）
- ・皮膚科広報動画作成

10. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- ・一斉メール配信システム導入に伴う E-mail アドレス登録促進
- ・日本専門医機構との各種折衝（継続事業）

以上